

これぞまさに実生活に活かす力！日常生活に潜む危険を予測し回避せよ！

6月16日(木)、保健体育科の濱中美己子先生が授業を公開しました(2年4組)。本時は、交通事故の障害を防ぐために、危険を予測し、安全な行動、環境の改善を行い、危険を回避することがねらいです。

美己子先生のたくさんのイイねを、バディの棚原淳司先生が紹介します。

イイね① グループで危険を予測させたことで、生徒の**多様な見方や考え方**を見ることができた。こんな危険もあるんだ」と驚く生徒もいて、盛り上がっていた。

イイね② グループの考えを全体で共有した後に、その後は自分なりの回避方法を振り返る時間を設けており、**生徒全員が思考を Output する場面**が設定されていた。

イイね③ 本県の**授業の基本事項である一人1台端末を活用**し、ジャムボードの付箋紙で「気づき」を貼ることで、オンタイムで生徒の学びがつながり、「危険回避」を自分事と捉えて解決しようとしていた。

体育の先生が学級経営にも長けている所以を図3に紹介します。「**学習規律**」、「**肯定的人間関係**」、「**情緒的解放**」は、教師力向上の鍵かもしれません。



ジャムボードの付箋紙で、危険を予測し共有



イラストに潜む危険を回避する方法を探る

例3 自転車通行可の歩道で、歩行者を追い越そうとしています。

●予測できる危険は？ ●回避の方法は？

図1 日常生活に潜む危険を回避するためには？

交通事故の発生要因

人的要因		環境要因	
心・体の状態	行動の仕方	気象条件	設備の状態
車両要因			
車両の特性		車両の欠陥	

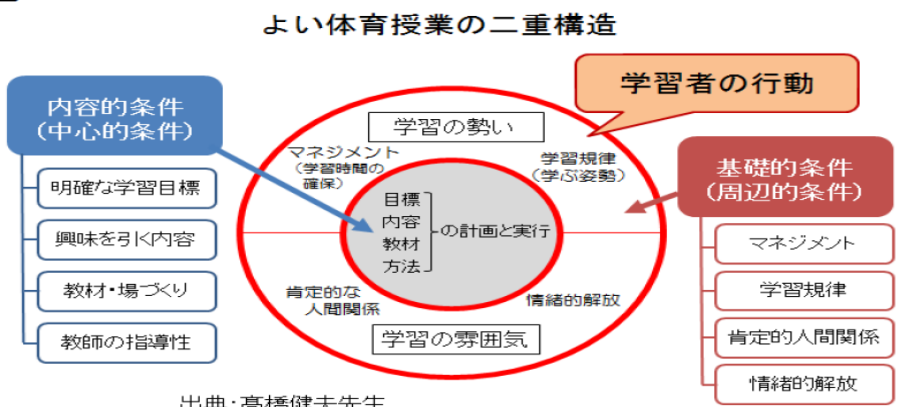
図2 交通事故には3つの発生要因が！

体育授業と学級経営

皆さん、「体育・保健体育の授業を観察すれば、その先生の学級経営がわかる。」と耳にしたことはありませんか。

そのようにいわれている理由が右図「よい体育授業の二重構造」の基礎的条件に示されています。「**学習規律(学ぶ姿勢)**」「**肯定的人間関係**」「**情緒的解放**」まさに学級経営に大切なことですね。

体育の授業力向上は学級経営にもつながるのですね。



出典:高橋健夫先生

図3 体育の授業と学級経営 (問いサポ P. 31)